



三豊市少年少女発明クラブの大西晃史君（比地大小4年）と大西能丈君（比地大小2年）の兄弟が、ものづくり体験教室全国大会（文部科学省主催）へ香川県の代表として出場しました。

11/17

大会には、自作のプロペラカーとかざぐるまカーで参加し、能丈君は参加者代表として選手宣誓をしました。



11/20

全国高校サッカー選手権大会県予選を2年連続で制した香川西高等学校サッカー部が、市長を表敬訪問しました。「気迫にあふれたプレーで、ミスがあってもみんなでリカバーし合ってがんばってください」との市長の激励に、大西キャプテンは、「最後まであきらめないプレーでがんばってきます」と力強く全国大会での活躍を誓いました。

みとよHOT ほっとNEWS



12/1

三豊市文化協会文化祭が、マリンウェーブと詫間福祉センターで開催されました。芸能発表会や各種作品展示など、会場には力作が並びました。また、マーガレットホールでは、三豊市文化講演会が行われ、うどんブームの火付け役としておなじみの四国学院大学教授 田尾 和俊氏の講演がありました。『アイデアを生み出すテクニック』と題した講演では、自身が雑誌の編集長として携わってきたうどんの話を中心に、「目的を具体化する」ことの重要性を訴えました。

和光中学校生徒が『自分たちが住んでいる町をきれいにしよう！』と町内6カ所のクリーン作戦を行いました。作業を終えた生徒からは「通学路のゴミ拾いをしていると、たくさんのゴミが落ちていました。田んぼの中にも空き缶やゴミを捨てているので、ひどいなと思いました。ゴミのないまちになるといいなと思います」と感想がありました。

和光中学校生徒が『自分たちが住んでいる町をきれいにしよう！』と町内6カ所のクリーン作戦を行いました。作業を終えた生徒からは「通学路のゴミ拾いをしていると、たくさんのゴミが落ちていました。田んぼの中にも空き缶やゴミを捨てているので、ひどいなと思いました。ゴミのないまちになるといいなと思います」と感想がありました。



12/1



12/5

民生委員児童委員の斉改選に伴う委嘱状交付式を、豊中第3庁舎2階大ホールで行いました。民生委員児童委員152人、主任児童委員14人に委嘱状が手渡され、3年間の活動をお願いしました。

三豊市勤労協議会の皆さんが毎年取り組んでいる、カーブミラーの清掃を行いました。晴天に恵まれたとはいえ、寒空のもと、棒ずりから滴り落ちる滴を受けながらの作業に、通りかかった人から「ご苦労さま、お世話になります」との声もあり、24人の参加者は、豊中・三野の2地区、約900本のミラーを気持ちよく清掃しました。

12/2



三野町の本門寺境内周辺で「大坊市」が開催されました。大坊市は別名「くいもん市」と呼ばれ、三野町名産品フェアなど食べ物のお店がずらりと並びました。23日には、この本もったいない市やクラウンパルーンショー、讃岐源之丞人形浄瑠璃公演が行われ、地元の子もたちはもちろん大勢の人でにぎわいました。

11/22~25





11/27

勝間小学校の4年生がとがみ園へ交流活動に訪れました。児童は、朗読劇「ごんぎつね」や歌などを披露したあと、おじいちゃんやおばあちゃんとお話をしたり、紙風船で遊んだり、交流を深めました。園内は子どもたちの優しい気持ちと笑顔にあふれていました。



11/16

三野保育所へ、地元の林さんが飼っている馬が遊びに来ました。馬は、県立農業経営高等学校馬術部で活躍後、林さんが引き取り飼っていて、人間でいうと80歳。はじめは、ドキドキしていた子どもたちでしたが、にんじんやリンゴなどをあげたり、体や柔らかない鼻に触れたりするうちに仲良くなり、貴重な体験になりました。



11/27

詫間町のフラワーパーク浦島で、詫間小学校3年生と大浜小学校全校生が、マーガレットの苗植えを体験しました。これは、児童に郷土の特産品や伝統に対する知識と、花を育てる優しい気持ちを持つてもらうと、花と浦島イベント実行委員会の主催で行われたものです。児童は、地元の皆さん協力のもと、1本1本ていねいに苗を植え付けました。

平成19年度三豊市自治会長会・三豊市日本一名誉賞表彰式を山本町農村環境改善センターで行いました。表彰式では、日本一に輝いた皆さんへ、市長から表彰状と記念品が手渡されました。また、自治会長会の市長報告では「三豊市の現状」について、最新の統計データを元に、行財政改革や先手の福祉、環境問題などを、スライドを使って説明しました。



12/2

マリンウェーブの南芝生広場でイルミネーション点灯式が行われました。手作りのトナカイやソリに加えて、今年のためま港まつりに登場した、詫間中学校の作品「スパイダーマン」が再登場！マリンウェーブの冬を彩るこのイルミネーションは、新年1月13日まで点灯されます。



12/1



12/6

高瀬中央保育所園児141人と須田保育所園児52人が、それぞれライオンズクラブの皆さんの協力でもちつき大会を行いました。昔ながらのきねと臼を使い、「よいしょっ！よいしょっ！」のかけ声で、一人ひとりが力いっぱいもちをつき、自分でもちをまるめました。やわらかくておいしく出来上がったもちに、みんな大満足でした。